

みんなの健康ラジオ

『皮膚科の救急 ②蕁麻疹』

(2025年10月16日放送)

横浜市皮膚科医会

横浜市立みなと赤十字病院

渡邊 憲

- 蕁麻疹は、突然に痒みのある発疹（膨疹）が出てきて、数時間で消えてしまいます。
- 突然、全身に発疹が出てきても、蕁麻疹ではない場合があります。その多くは中毒疹と呼ばれ、ウイルス感染による場合と、薬による場合（薬疹）があります。



蕁麻疹

- これが膨疹（ぼうしん）です。
- 大きさや場所は、様々です。
- 数時間で消えます。

- 蕁麻疹の原因がアレルギーと判明するのは、数パーセント程度です。
- 多くの場合、薬を飲めば数日で治まります。
- 呼吸困難や血圧低下を伴うアナフィラキシーである場合があります、皮膚以外の症状に注意が必要です。



中毒疹

- 左右対称です。
- 何日も消えません。

- 中毒疹の原因の特定は難しく、皮膚科専門医の診察が必要です。
- ウイルス感染の場合は、自然に消えるのを待つことがほとんどです。
- 高熱が出たり、眼や口の粘膜がむけて来る場合は、重症薬疹の可能性があります。